

はいようせい “聴覚の廃用性” を予防

身体のある部分を使うことを止めると
その部分が弱り、あるいは機能の委縮が起こるのに
長い時間はかかりません。
耳についても全く同じことが言えます。
最適な状態で聞こえていなかったり、両側の耳に常に
聴覚刺激が入ってこないままにしていると、音を
処理する聴覚機能そのものが時間の経過と共に徐々に弱まり、回復は益々難しくなってしまいます。
これを「聴覚の廃用性」と言います。

補聴器を両耳に装用することは、聴覚機能全体に、
適切で一貫した刺激を与えることになり、この「聴覚の廃用性」の予防に役立ちます。

両耳装用の「きこえ」に関する詳細については、
補聴器の専門家にご相談下さい。



Hear better. Live better.

スタークリジャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F
Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

www.starkeyjp.com

0120-045-190

フリーダイヤル

スタークリ

検索

第2種医療機器製造販売業許可番号:14B2X00027

スタークリ補聴器のご相談・ご用命は当店へ



◆両耳装用の効果(動画解説)
www.starkeyjp.com/binaural-hearing

Hear better. Live better.
ブログ公開中!



MD 04856

2023年3月作成

©スタークリ顧客満足度向上推進プロジェクトとして作成しました。
BROC0100-04-JJ-JP JPYBR-100

りょうみみ 両耳装用の効果

なぜ、補聴器は片耳だけに装用するより、
両耳に装用するのが良いとされるのでしょうか?



身体に2つの耳 がある理由

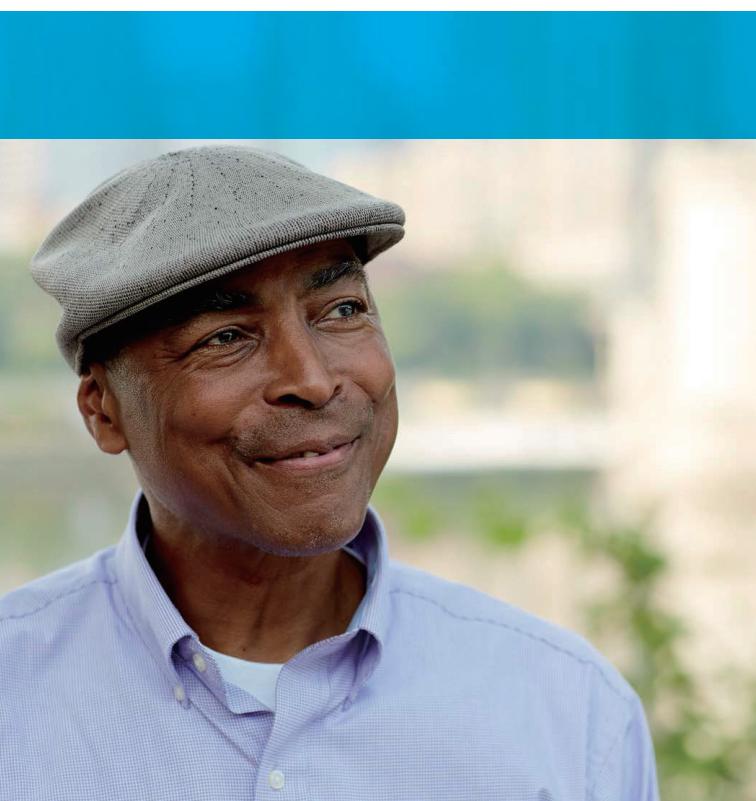
「こっちの耳が悪いんです。」

「良い方の耳に話しかけてね。」

このような会話を聞いた（もしくは、言った）ことが何回ぐらいありますか？

私たち人間には2つの耳があります。片耳が難聴である、というのはよくある話ですが、実は多くの場合、その人は両耳が難聴になっているのにそのことに気が付いていないのです。片耳のみが難聴である場合よりも、両耳が難聴である場合の方がずっと多く、このために多くの専門家が両耳装用を勧めます。

そのため、難聴が主に片耳だけであったとしても、両耳装用を検討することが重要です。



より 自然な「きこえ」 を実感するためには

はっきりとした視界、視野、奥行きなどを知覚するには、片目よりも両目の方が圧倒的に良くなります。「きこえ」にも同じことが言えます。両耳で聞くと、より豊かでバランスの取れた「きこえ」を得ることができます。

難聴に左右の偏りがあったとしても、2つの補聴器による両耳装用を検討することは重要です。最新の科学技術の進歩によって、補聴器の中には左右の補聴器が情報伝達し、連動する機能（両耳間通信機能）が搭載されているものもあります。日常でのより自然なきこえを再現するように設計されています。

りょうみみ 両耳装用の メリットとは

左右の耳に補聴器を装用すると、次のような違いに気づくでしょう：

会話がより理解し易い

聞こえてくる音を選別し易くなるので、会話により集中し易くなります。

音の方向感が向上

2つの補聴器を左右に装用すると、音がどこから聞こえてくるのかをより正確に把握する事ができます。たくさん的人がいる場面や周りに車がいる場合に役立ちます。



音の区別

1台の補聴器でも、もちろん役立ちます。しかし片耳装用では、様々なノイズと言葉（会話音）を間違えてしまう可能性があります。両耳装用なら、音をより明確に区別することができます。

可聴範囲の拡大

両耳装用の場合、片耳装用と比べると、可聴範囲（聞こえる音の発生源からの距離）を4倍にも広げることができます。

優れた音質

2つのスピーカーによって、より滑らかで、メリハリのある、左右バランスの取れたステレオサウンドのように、両耳装用は聞こえてくる全ての音質を向上させます。

補聴器満足度の向上

ベター・ヒアリング・インスティテュート（アメリカの難聴に関する研究機関）の調査によると、両耳に装用している人の方が、片耳だけに装用している人よりも、補聴器への満足度が高いことが報告されています。